

# 2022年度あかしSDGsパートナーズ実績報告書

様式 3

No. 14 株式会社柿野工務店

記入日 2023年(令和5年)5月19日

1. 2030年までに達成したいこと	建設業の固定概念を取り払い、自社の強みを生かしながら多様な人材の活躍の場所を提供する雇用を推進し、地域の人々の模範となり、真に持続可能な社会に寄与する。	3. 関連するゴール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2. 取組の概要	男女共に働きやすい労働環境を目指す。再利用できるものはリサイクルにまわし、有害物質による環境汚染が起こらないよう、廃棄物の分別を徹底し廃棄物の量を減らす。		10	11	12	13	14	15	16	17		
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4. 主な取組の達成状況							
(1)	女性社員の積極雇用 ジェンダー平等についての啓発研修	①目標値		②当初値	③実績値		達成度
		女性社員、管理職割合	30.0 %以上	25.0 %	25.0 %		
		2030年度		2020年度	2022年度	2023年度	
(2)	デジタルを活用したコミュニケーションツールの共有 排水処理基準、廃棄物処理基準の策定と経営統合	①目標値		②当初値	③実績値		達成度
		廃棄物排出2021年より2割削減	-20.0 %	609.1 t	550.42 t		
		2030年度		2020年度	2022年度	2023年度	
(3)	地域資源と新エネルギー設備の融合 地域の素質に合わせた環境負荷の低い再生可能エネルギーの研究	①目標値		②当初値	③実績値		達成度
		自社のカーボンニュートラル達成	100 %	0	0 %		
		2030年度		2020年度	2022年度	2023年度	

5. 取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性社員の雇用はなかった。</li> <li>ジェンダー平等の啓発研修を行った。</li> <li>コミュニケーションツールの導入を行った。</li> <li>排水処理基準、廃棄物処理基準については策定せず。</li> <li>パークPFIのプロポーザルが通らず、新たな取り組みはなし。</li> </ul>	<b>問合せ先</b> 団体名：株式会社 柿野工務店 担当課： 電話：078-928-9415 メール：info@kakino.co.jp 担当者：柿野真吾
---------	---	---

6. 今後の課題と取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期投資がかかるエネルギー政策以外は、展開可能。</li> <li>女性の活躍について理解が深まり、活躍の仕方の協議がなされた。</li> <li>職域でデザインや企画部門があると女性の活躍の幅が広がる。</li> <li>協力業者への養生材の減少や脱プラスチックについての協議により、SDGsへの理解が深まった。</li> <li>掲示物により、お客様や協力業者との話題にSDGsが出ることが多くなった。</li> </ul>	<b>連携希望</b> なし
-------------	---	----------------